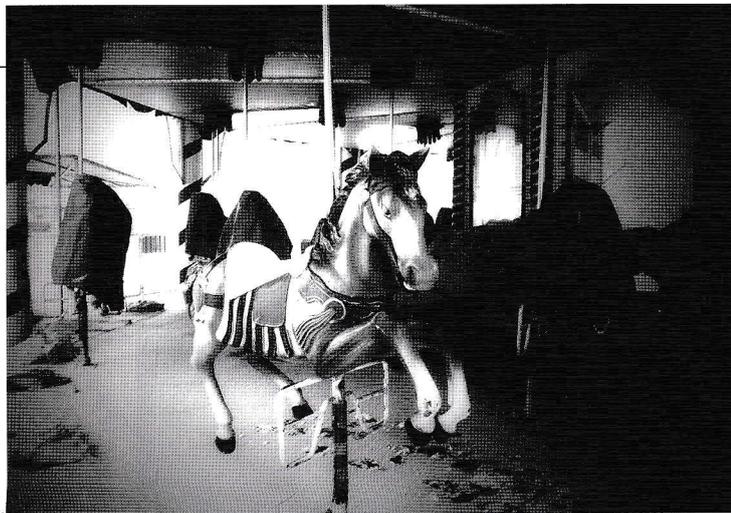


# 演劇空間スペースベン

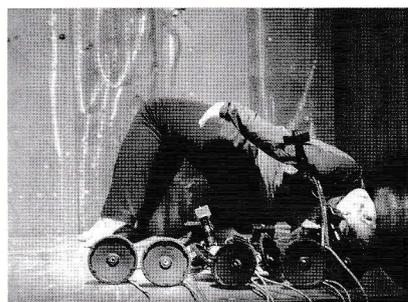
7月19日ICANOF展(八戸市美術館)スタート!!

## 『あなたも沖縄展に参加しませんか!』

〈文/豊島重之(ICANOFキュレーター)〉



ICANOF7月展出品作: 米内安芸 (ICANOF代表)



7月20日ダンス: 苫米地真弓 (P 本山周平)

複製「いわばデジカメ時代の写真の命運も重ね合されており、十月がかりの絵葉書Ⅱカルトポストラ制作も同時進行中。ICANOF展に足を運ばなくても写真のほうからアナタのもとへ毎週、到着してしまふ。これってスゴイことじゃないか。

(2) オープニング企画(会場・同館2Fギャラリ)がこれまたスゴイ。いま東京で絶賛公開中の新作映画が県内初公開される。19日(水)18時・佐藤真監督「エドワード・サイード/OUT OF PLACE」(137分)上映。20時半・佐藤真・中野真紀子・鶴飼哲トーク「映画の飛び地・写真の飛び鳥」20日(木)18時・苫米地真弓ソロダンス公演「写真/ここになき、灰」。

19時・鶴飼哲トーク「カルトポストラルとレパシー」。この両日は、現代哲学のビッグネーム「故サイードと故デリダ」の足跡をたどる哀悼の旅と言える。

21日(金)13時30分・佐藤真監督映画特集「SELF AND OTHERS」。「市場最大の作戦」「阿賀に生きる・阿賀の記憶」上映。17時半・佐藤真・鶴飼哲・岡村民夫トーク「記憶と痕跡として『声』」。

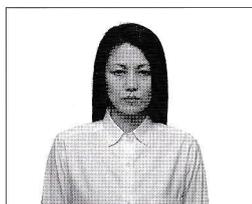
19時・オープニングパーティ。22日(土)13時・ICANOFドキュメンテーション(映像/佐藤英和)「CAN OF ICANOF」上映。14時・「コリオリ」ダンス公演(出演/田島千征・小幡由佳・秋山容子・斉藤尚子・得丸文野)。

14時30分・倉石信乃トーク「バタイクと写真/美術のアノマリー」。15時30分・鶴飼哲・濱治佳・宮城潤・倉石信乃トーク「写真の北/写真の南?」。18時・懇親会。(各日、会費あり)

(3) 2006年のICANOF展の特色は、4月と5月に東京・新宿でやり、7月に八戸でやっただけで終了ではない。第四幕があるのだ。11月23日(木)祝/12月3日(日)那覇の中心部にある、前島アートセンターで「テロメリック展VOL.4」が開催される。今からでも遅くはない。7月に出品した人のみならず、上記のトークに参加しただけで那覇にも参加するアドバンテージを得たことになる。日本の北と南が、八戸と那覇が「弧状の群島」を弓なりに引き絞る。その弓に矢をつがえてはみないか。そう、アナタがその矢になつては



7月22日ダンス: 田島千征 (P 本山周平)



招待出品: 「PORTRAITS」北島敬三(木村伊兵衛賞)

1 八戸市民・県民による写真・映像ユニットICANOF(イカノフ/代表 米内安芸)が第6企画展を八戸市美術館で行なう。来たる7月19日(水)8月6日(日)の19日間(休館日なし・入場無料)。招待出品は「木村伊兵衛賞」の写真家北島敬三、「写真の会」賞の笹岡啓子・王子直紀・大友真志・西村康・本山周平ら若手写真家。ICANOF出品は、山本貴士・片山康夫・佐々木遊・柏瀬八峰ら若手の脇を米内安芸・岩田雅一・櫛引素夫らベテランが締め、とりわけ「平間至写真大賞」の佐藤安津子・半田晴子・花田悦美・高村智子・高屋敷明子・高沢利栄ら女性6人の新作写真が目を惹く。テーマは「テロメリック」。御存知、あのクローン羊ドリーで脚光を浴びたテロメリア遺伝子。ヒトの老化や寿命を規定する一方、癌やエイズの細胞増殖を抑制する遺伝子として今や「ダヴィンチ・コード」をしのご注目株。その上、テロメリックには「末端

複製「いわばデジカメ時代の写真の命運も重ね合されており、十月がかりの絵葉書Ⅱカルトポストラ制作も同時進行中。ICANOF展に足を運ばなくても写真のほうからアナタのもとへ毎週、到着してしまふ。これってスゴイことじゃないか。

(2) オープニング企画(会場・同館2Fギャラリ)がこれまたスゴイ。いま東京で絶賛公開中の新作映画が県内初公開される。19日(水)18時・佐藤真監督「エドワード・サイード/OUT OF PLACE」(137分)上映。20時半・佐藤真・中野真紀子・鶴飼哲トーク「映画の飛び地・写真の飛び鳥」20日(木)18時・苫米地真弓ソロダンス公演「写真/ここになき、灰」。

19時・鶴飼哲トーク「カルトポストラルとレパシー」。この両日は、現代哲学のビッグネーム「故サイードと故デリダ」の足跡をたどる哀悼の旅と言える。

21日(金)13時30分・佐藤真監督映画特集「SELF AND OTHERS」。「市場最大の作戦」「阿賀に生きる・阿賀の記憶」上映。17時半・佐藤真・鶴飼哲・岡村民夫トーク「記憶と痕跡として『声』」。

19時・オープニングパーティ。22日(土)13時・ICANOFドキュメンテーション(映像/佐藤英和)「CAN OF ICANOF」上映。14時・「コリオリ」ダンス公演(出演/田島千征・小幡由佳・秋山容子・斉藤尚子・得丸文野)。

14時30分・倉石信乃トーク「バタイクと写真/美術のアノマリー」。15時30分・鶴飼哲・濱治佳・宮城潤・倉石信乃トーク「写真の北/写真の南?」。18時・懇親会。(各日、会費あり)

(3) 2006年のICANOF展の特色は、4月と5月に東京・新宿でやり、7月に八戸でやっただけで終了ではない。第四幕があるのだ。11月23日(木)祝/12月3日(日)那覇の中心部にある、前島アートセンターで「テロメリック展VOL.4」が開催される。今からでも遅くはない。7月に出品した人のみならず、上記のトークに参加しただけで那覇にも参加するアドバンテージを得たことになる。日本の北と南が、八戸と那覇が「弧状の群島」を弓なりに引き絞る。その弓に矢をつがえてはみないか。そう、アナタがその矢になつては

7月のFriday Amusement Negative Shop

7月7日(第648回)  
【たべり場 crossing cafe file.25】  
これから～ました。～ 案内人: 田中勉

7月14日(第649回)  
【たべり場 crossing cafe file.26】  
匿名掲示板風に語れ! 半年経ちました  
案内人: 安達良春

7月21日(第650回)  
遊鳥座(かいだん)

7月28日(第651回)  
【たべり場 crossing cafe file.27】  
寺山～語録～ 案内人: 田中勉

※特別番組以外全て午後7時30分～、料金/一般500円 高校生以下100円  
※料金改定しました! 高校生以下は、特別番組以外100円でご覧になれます。  
チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

tsutomu\_tanaka ☎070-5095-2028  
スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>  
Eメールアドレス owner@spaceben.com

演劇空間 スペースベン  
八戸市柏崎1-11-8  
☎ 0178-43-9876  
FAX 050-3588-8350

みないか。  
問い合わせ  
ICANOF事務局(高沢利栄)  
☎090-2998-0244  
メール mo@667-dj.com  
URL  
<http://www.hi-net.ne.jp/icanof>